

『十勝型』地域包括ケアを目指して ～新たな医療・介護連携、4年間の歩みとこれから～

十勝連携の会
笠松 信幸 幹事
(かさまつケアオフィス
合同会社代表)



⑧ 連携の「十勝モデル」

「十勝連携の会」が医療連携推進事業(道補助事業)を受託した時に決めた「十勝のミッション」は、①圏域の医療・介護の実情把握と分析②退院支援、看取り支援など在宅ケア機能の分析③連携に必要な情報、ルールづくりの3点でした。補助事業最終年度の今年も、この3点を現在進行形で追求しています。

✂入退院時連携に苦労している✂

2013年、重点的に取り組んだのは「入退院時の連携がうまくいっているか」を調査し、課題を明らかにして「十勝ルール」の確立を目指す試みでした。

十勝管内の病床がある医療機関(32病院)の看護師、居宅介護支援事業所(90事業所)のケアマネ、地域包括支援センター(22カ所)の管理者、小規模多機能型居宅介護(20事業所)のケアマネを対象に、要介護高齢者が入退院する際の連携について、アンケート調査を2013年7月に行いました。

対象164件中96件から回答が得られ、特に医療機関は7割近い22病院(57病棟)から回答が届きました。アンケートへの関心の高さは、それだけ入退院連携に苦労していることの表れだと思われま

✂情報提供は「いつ」「何を」?✂

入院時に情報を受け取る側(病棟)と提供する側(ケアマネ)の意識に大きなずれがあることが、調査から分かりました。

急性期病棟では「入院前の情報を知り、治療に生かしたい」との考えから、在宅での情報は「入院当日にほしい」(73%)、「入院翌日まで」(23%)と早めの提供を希望しています(グラフ1)。

ところが、ケアマネ側は「入院当日」に情報提

供しているのは20%と少なく、「翌日」(15%)「3～4日目」(16%)「1週間以内」(13%)という状況でした。予期せぬ入院の場合には、家族からケアマネにすぐには連絡が来ない場合もあり、入院直後に情報提供が出来ない要因になっているようです。

また、病棟で知りたい情報は、患者の日常生活動作(歩行、排泄、食事摂取など)や認知機能に関するものだということが分かりました。

●入院時の情報提供<ケアマネ→病棟へ>

- (1)入院当日か翌日までに(早いほど良い)
- (2)日常生活動作(歩行、排泄、食事摂取など)や認知機能
- (3)「大事なことを箇条書き」で十分役立つ

✂退院時のミスマッチも明らかに✂

同様に、退院時の連携状況についても調査しました。

ケアマネは「退院の連絡をどのくらい前にほしいか」で、「1週間から10日前」(57%)、「2週間前」(26%)と、退院前の在宅サービス調整期間を見越した上での連絡を希望しています。

一方、病棟看護師は、46%が「1週間から10日前」に連絡していますが、「2～3日前」(24%)、「前日」(5%)のように、連絡が退院直前になっているケースが3割近くありました。(グラフ2)

また、退院前カンファレンスに「ケアマネや在宅サービス関係者が入っていない」が35%ありました。これらの多くは、主治医や看護師などが患者・家族に説明する場(インフォームドコンセント)として設定されたものを「退院前カンファレンス」とみなしているようでした。

退院前カンファレンスとは、患者や家族、医療チームと在宅ケアチームが同じテーブルについ

て、退院後の課題を解決するための情報交換や方向付けをする会議です。「医療から介護への切れ目のない連携」には欠かせない会議なのですが、それが十分機能しないまま退院している患者が相当数いることが明らかになりました。

さらに「退院前カンファレンス」という言葉が、十勝ではまだ関係職種の共通言語として定着していないことも分かりました。

✂退院前カンファレンス十勝モデル✂

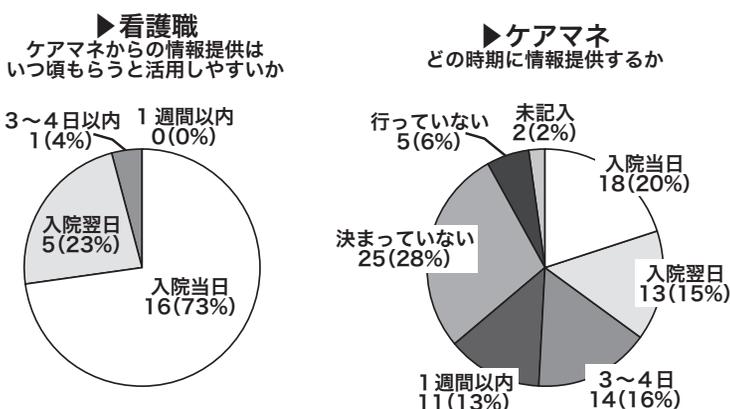
2013年10月に開かれた「十勝連携の会意見交換会」で、私たちはこの調査結果を発表し問題提起しました。

参加した保健・医療・介護・福祉の関係団体(23団体・約60名参加)で検討した結果、退院時の連携ルールについて以下のように大枠で合意しました。ただし「ルール」=「規則」と同一視されることから、そこまで厳格なものにせず、標準的な連携「モデル」という位置づけになっています。

●退院前カンファレンス「十勝モデル」

- (1)目的：退院前に医療チームと在宅チームが一堂に会し、合同で退院後の生活について話し合う
- (2)参加者：ご本人、ご家族、医療チーム(主治医・看護師・リハビリ職・MSW等)、在宅チーム(ケアマネ・在宅担当医・訪問看護師・介護職・リハビリ職等)
- (3)開催時期：退院の1週間～10日前頃
- (4)検討内容：入院中の経過、ADLの変化、想定されるリスクと予後、退院後に必要なケア、本人・家族が望む生活、支援に必要な体制など

◆グラフ1 入院時情報提供の時期



◆グラフ2 退院時連絡の時期

